

株式会社パトライト ネットワーク表示灯  
NHシリーズ  
NHL-3FB1

サンプル画面説明書

三菱電機株式会社

## サンプルのご利用について

---

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

- (1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。
- (2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
- (3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。  
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合は、その限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。
- (4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- (5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。
- (6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。
- (7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

## 目次

---

改訂履歴 .....	4
1. 概要 .....	5
2. システム構成 .....	6
3. GOT について .....	6
3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション .....	6
3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定 .....	7
3.3 作画ソフトウェアの Ethernet の設定 .....	7
3.4 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定 .....	7
4. ネットワーク表示灯について .....	8
4.1 ネットワーク表示灯の設定 .....	8
5. 画面仕様 .....	9
5.1 表示言語 .....	9
5.2 画面一覧・遷移 .....	9
5.3 画面説明 .....	11
5.3.1 メニュー (B-30001) .....	11
5.3.2 ネットワーク表示灯モニタ (B-30002) .....	12
5.3.3 ネットワーク表示灯動作履歴 (B-30003) .....	13
5.3.4 ネットワーク表示灯動作テスト (B-30004) .....	14
5.3.5 装置アラーム (B-30005) .....	15
5.3.6 マニュアル表示 (B-30500) .....	16
5.3.7 アラームリセット (W-30001) .....	18
5.3.8 言語設定 (W-30002) .....	19
5.3.9 時計設定 (W-30003) .....	20
5.4 使用デバイス一覧 .....	21
5.5 コメント一覧 .....	22
5.6 スクリプト一覧 .....	22
6. マニュアル表示について .....	27
6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備 .....	27
7. その他 .....	28
7.1 ラダープログラム .....	28

## 改訂履歴

### サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2013/9	BCN-P5999-0095	初版
2015/6	BCN-P5999-0095-2	ドキュメント ID のデバイス指定対応
2015/9	BCN-P5999-0095-3	ラダープログラムを GX Works2 形式に変換 ラダープログラムにコメントを記載 ラダープログラム、コンフィグデータの格納先を記載 5.4 使用デバイス一覧を修正 5.6 スクリプト一覧を修正 7.1 ラダープログラムを更新

\* 管理番号は、右下に記載しています。

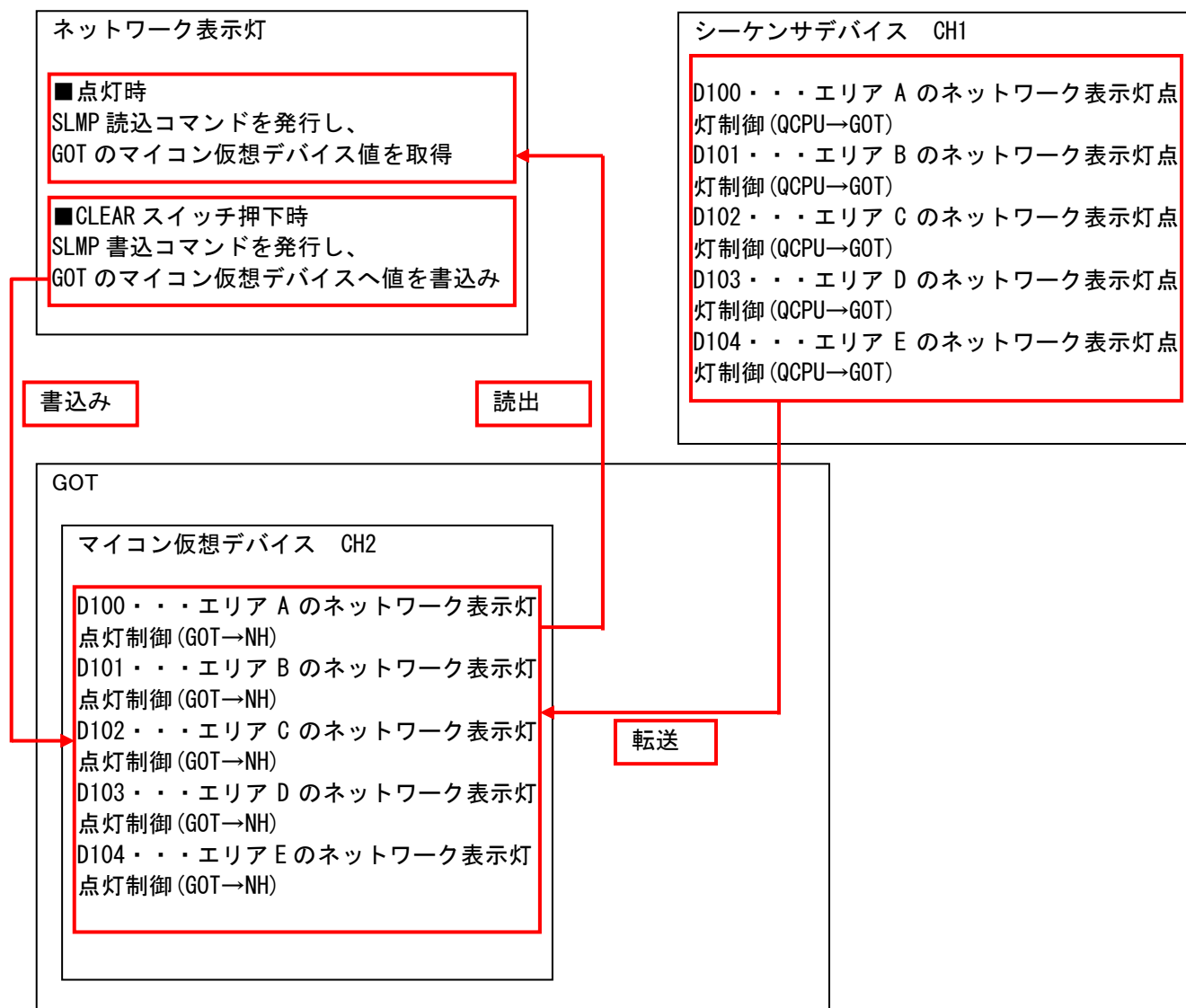
### プロジェクトデータ

改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2013/9	PATLITE_NH_V_Ver1_J. GTX	1. 100E	初版
2015/6	PATLITE_NH_V_Ver2_J. GTX	1. 128J	ドキュメント ID のデバイス指定対応
2015/9	PATLITE_NH_V_Ver3_J. GTX	1. 136S	バージョンのみ更新

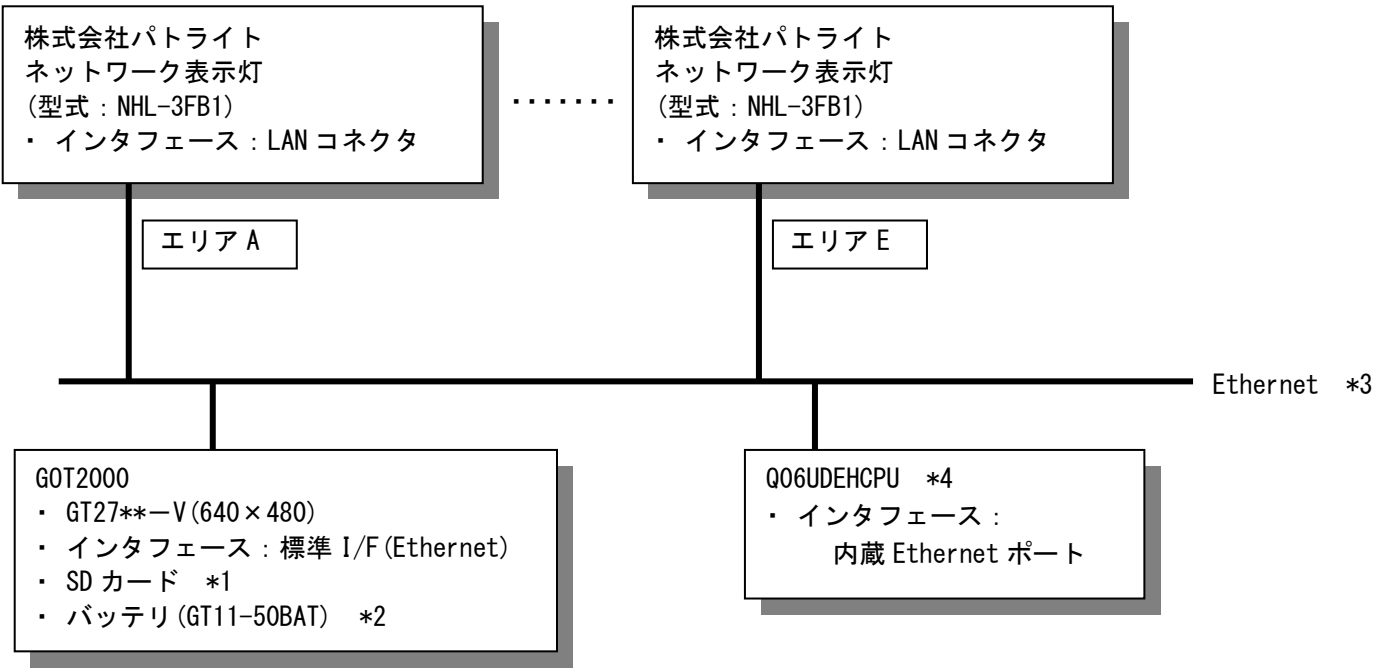
\* プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

## 1. 概要

GOT2000 と株式会社パトライトのネットワーク表示灯とシーケンサを Ethernet で接続し、装置でアラームが発生した際にネットワーク表示灯の点灯制御を行うサンプル画面の説明書です。以下に点灯制御内容を記載します。



## 2. システム構成



- \*1 : SDカードは、ドキュメント表示機能・シーケンスプログラムモニタ機能で使用しています。
- \*2 : バッテリは、時計データおよびSRAMユーザ領域のユーザアラームデータの停電保持で使用しています。  
(バッテリーはGOT本体に標準装備しています。)
- \*3 : ケーブルの詳細については、「GOT2000シリーズ接続マニュアル(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)」を参照してください。
- \*4 : ラダープログラムは下記フォルダに同梱しています。  
＜作画ソフトウェアのインストール先パス＞¥GTD3\_2000¥App¥SampleProject¥PATLITE\_NH\_V\_Ver3

## 3. GOT について

### 3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

種類	システムアプリケーションの名称	
基本機能	基本システムアプリケーション	
	標準フォント	日本語
通信ドライバ	Ethernet 接続	
	Ethernet (MELSEC), Q17nNC, CRnD-700, ゲートウェイ Ethernet (マイコン)	
拡張機能	標準フォント	中国語 (簡体)
	アウトラインフォント	ゴシック
		英数かな
		日本語漢字
	シーケンスプログラムモニタ	
	ドキュメント表示	
	GOT プラットフォームライブラリ	
	GOT 機能拡張ライブラリ	

### 3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定

#### CH1 の設定 (シーケンサ CPU Ethernet 接続)

項 目	設定値	備 考
GOT NET No.	1	
GOT 局番	1	
GOT Ethernet 設定	表 1 を参照	
GOT 機器通信用ポート No.	5001	
リトライ回数 (回)	3	
立ち上がり時間 (秒)	3	
通信タイムアウト時間 (秒)	3	
送信ディレイ時間 (ms)	0	

#### CH2 の設定 (ネットワーク表示灯 マイコン接続)

項 目	設定値	備 考
GOT NET No.	2	
GOT 局番	1	
GOT Ethernet 設定	表 1 を参照	
GOT 機器通信用ポート No.	5021	
立ち上がり時間 (秒)	3	
送信ディレイ時間 (ms)	0	
32 ビット格納順序	LH 順	
プロトコル	UDP/IP	
形式	7	
割込みデータ長	1	
特殊割込み出力	なし	
生存確認	しない	
生存確認周期 (秒)	20	

#### GOT 標準 Ethernet 設定

項 目	設定値	備 考
GOT Ethernet 設定を本体に反映する	チェック有り	
GOT IP アドレス	192.168.3.18	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
周辺 S/W 通信用ポート No.	5015	
トランスペアレント用ポート No.	5014	

### 3.3 作画ソフトウェアの Ethernet の設定

	自局	Net No.	局番	機器	IP アドレス	ポート No.	通信方式
1	*	1	2	QnUD (P) V/QnUDEH	192.168.3.39	5006	UDP

### 3.4 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定

ベース画面の切り換え時にウィンドウ画面を閉じるために、[画面切り換え/ウィンドウ]のオーバーラップウィンドウの[詳細設定]で[ベース画面の切り換えと同時にウィンドウを閉じる]を有効にしています。

## 4. ネットワーク表示灯について

### 4.1 ネットワーク表示灯の設定

ネットワーク表示灯のコンフィグデータ (config.ini ファイル \*1) を Web ブラウザ上から、ネットワーク表示灯に書き込んでください。以下に設定内容の一部を記載します。

#### システム設定

項 目	設定値	備 考
本体 IP アドレス	192.168.3.1	

#### SLMP 読込/書込コマンドの設定

項 目	設定値	備 考
接続先ポート	5021	
プロトコル	UDP	
シリアル番号	付加する	

#### 動作パターン設定

項 目	点灯設定	SLMP コマンド
動作パターン 1	読込 D100=1	赤 点灯
動作パターン 2	読込 D100=2	赤 点灯パターン 1
動作パターン 3	読込 D100=3	赤 点灯パターン 2
動作パターン 4	読込 D100=4	黄 点灯
動作パターン 5	読込 D100=5	黄 点灯パターン 1
動作パターン 6	読込 D100=6	黄 点灯パターン 2
動作パターン 7	読込 D100=7	緑 点灯
動作パターン 8	読込 D100=8	緑 点灯パターン 1
動作パターン 9	読込 D100=9	緑 点灯パターン 2
動作パターン 10	読込 D100=A	青 点灯
動作パターン 11	読込 D100=B	青 点灯パターン 1
動作パターン 12	読込 D100=C	青 点灯パターン 2
動作パターン 13	読込 D100=D	白 点灯
動作パターン 14	読込 D100=E	白 点灯パターン 1
動作パターン 15	読込 D100=F	白 点灯パターン 2
動作パターン 16	読込 D100=10	全消灯
クリア動作	書込 D100=10	-

\*1：コンフィグデータは下記フォルダに同梱しています。

＜作画ソフトウェアのインストール先パス＞¥GTD3\_2000¥App¥SampleProject¥PATLITE\_NH\_V\_Ver3



## 5. 画面仕様

### 5.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No. 498、499、500 の列 No. 1~3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No. を格納すると列 No. に対応した言語を表示します。

列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

### 5.2 画面一覧・遷移

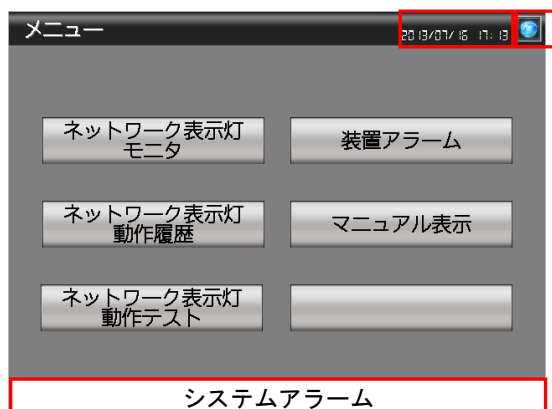
#### 5.2.1 画面一覧・遷移(共通)



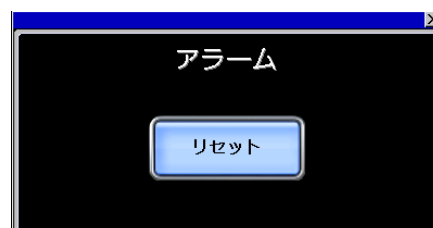
ウィンドウ画面 W-30003 : 時計設定



ウィンドウ画面 W-30002 : 言語設定

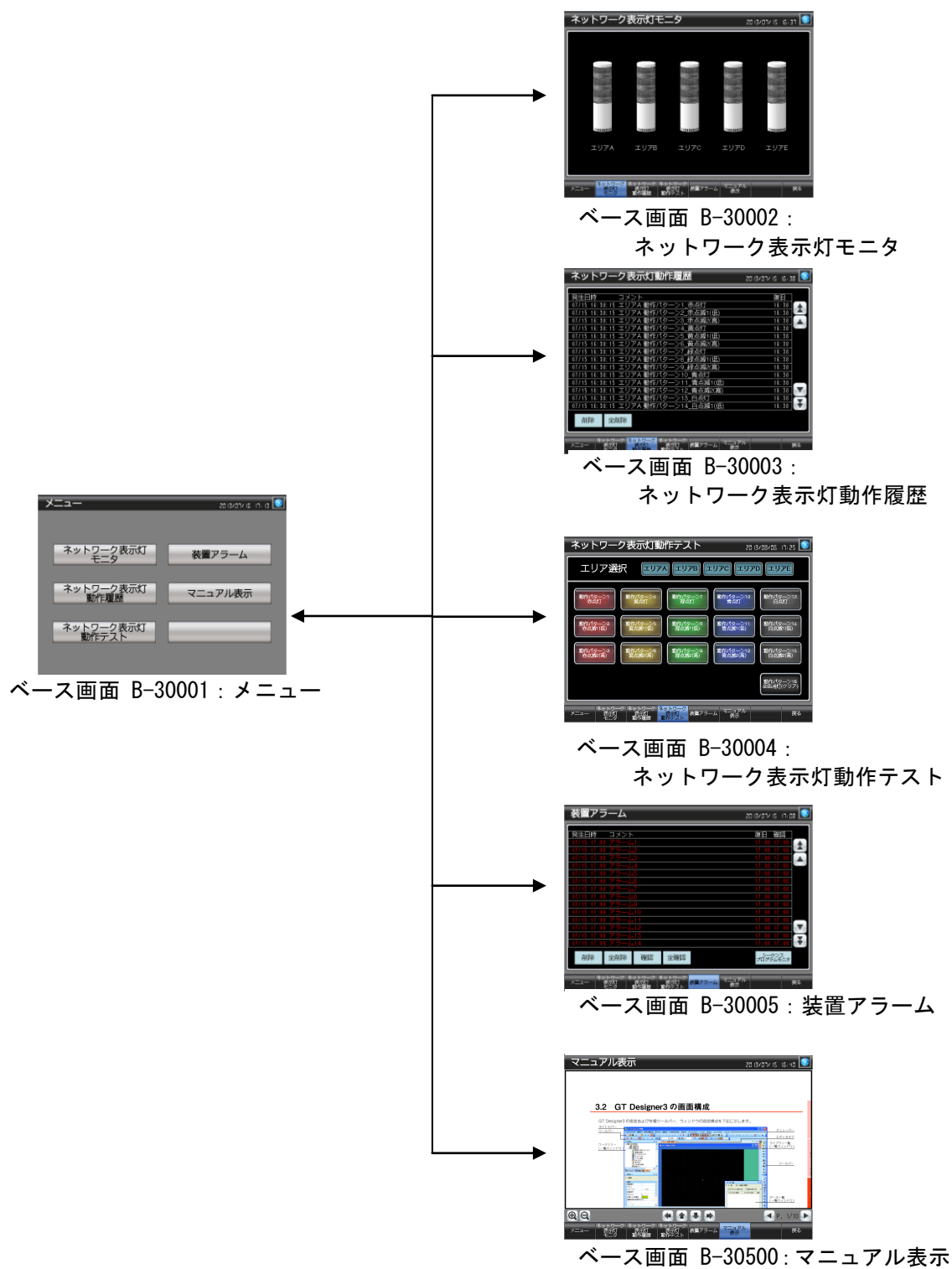


ベース画面 B-30001 : メニュー他全ベース画面



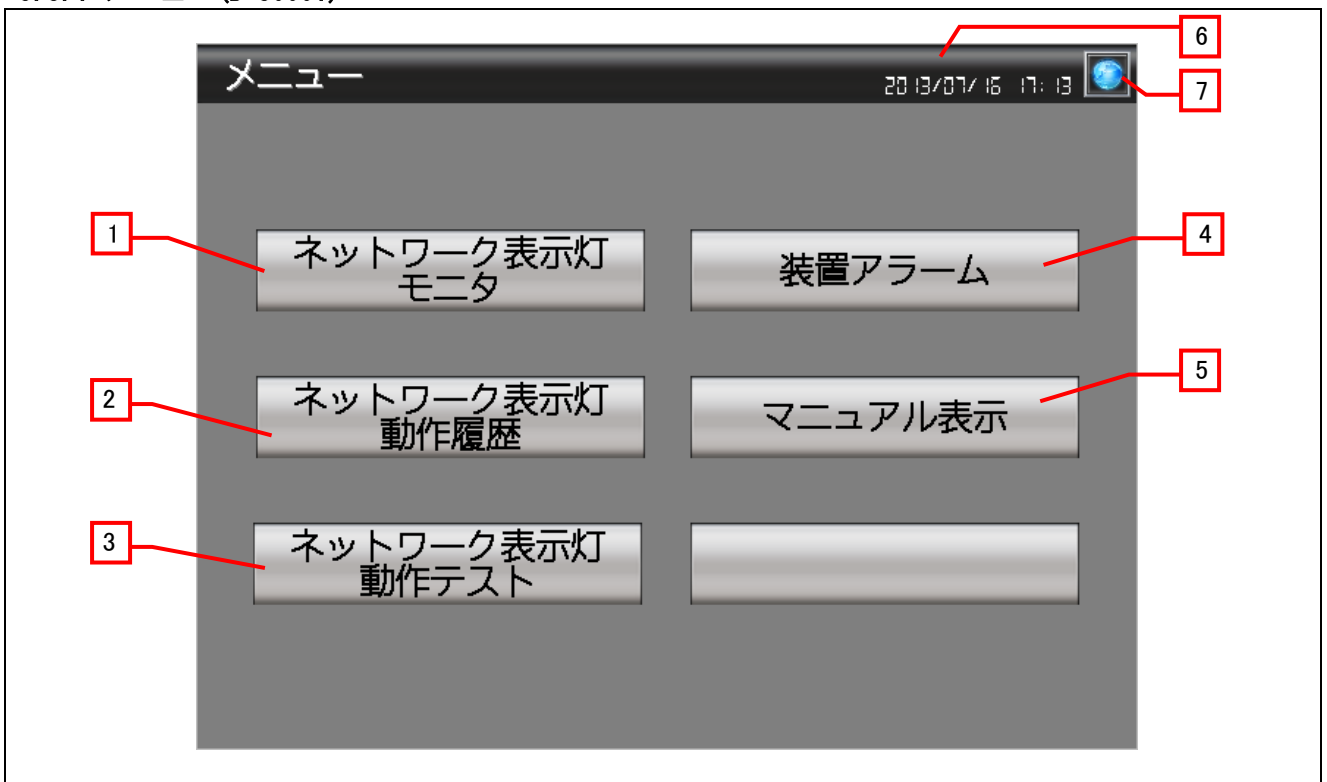
ウィンドウ画面 W-30001 : アラームリセット

## 5.2.2 画面遷移(個別)



## 5.3 画面説明

### 5.3.1 メニュー(B-30001)



#### 概要

メニュー画面です。

#### 詳細

1. ネットワーク表示灯モニタ画面に切り換えます。
2. ネットワーク表示灯動作履歴画面に切り換えます。
3. ネットワーク表示灯動作テスト画面に切り換えます。
4. 装置アラーム画面に切り換えます。
5. マニュアル表示画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

#### 備考

- ・プロジェクトスクリプトにてネットワーク表示灯の制御を行っています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 5.3.2 ネットワーク表示灯モニタ (B-30002)



#### 概要

各エリアに設置しているネットワーク表示灯の点灯状態を表示します。

#### 詳細

1. 点灯状態を表示します。
2. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
3. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
4. 前回表示していた画面に切り換えます。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
6. 言語設定ウィンドウを表示します。

#### 備考

- ・プロジェクトスクリプトにてネットワーク表示灯の制御を行っています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 5.3.3 ネットワーク表示灯動作履歴 (B-30003)



#### 概要

ネットワーク表示灯の動作履歴を表示します。

#### 詳細

- ネットワーク表示灯の動作履歴を表示します。タッチでカーソルを表示/非表示します。アラーム表示上をタッチした状態で上下にフリックするとアラームを上下にスクロール表示します。
- 動作履歴表示を操作します。
  - : 上下にページスクロールします。
  - : 上下に1行ずつスクロールします。
  - 削除 : 選択された復旧済み動作履歴を削除します。
  - 全削除 : 復旧済み動作履歴をすべて削除します。
- 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
- 言語設定ウィンドウを表示します。

#### 備考

- プロジェクトスクリプトにてネットワーク表示灯の制御を行っています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 5.3.4 ネットワーク表示灯動作テスト (B-30004)



#### 概要

エリア毎にネットワーク表示灯の動作テストをします。

#### 詳細

1. エリアを選択します。
2. 動作テストパターンを選択します。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

#### 備考

- ・プロジェクトスクリプトにてネットワーク表示灯の制御を行っています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 5.3.5 装置アラーム(B-30005)



#### 概要

装置のアラーム履歴を表示します。

#### 詳細

- 装置のアラーム履歴を表示します。タッチでカーソルを表示/非表示します。アラーム表示上をタッチした状態で上下にフリックするとアラームを上下にスクロール表示します。
- 装置のアラーム履歴を操作します。
  - : 上下にページスクロールします。
  - : 上下に1行ずつスクロールします。
  - 削除 : 選択された復旧済みアラームを削除します。
  - 全削除 : 復旧済みアラームをすべて削除します。
  - 確認 : 選択アラームの日時表示(確認)をします。
  - 全確認 : 全アラームの日時表示(確認)をします。
  - シーケンスプログラムモニタ : 選択したアラームの回路を表示します。
- 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
- 言語設定ウィンドウを表示します。

#### 備考

- プロジェクトスクリプトにてネットワーク表示灯の制御を行っています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。






### 5.3.6 マニュアル表示 (B-30500)



#### 概要

表示中の言語に対応したマニュアルを表示します。

#### 詳細

1. マニュアル表示は、言語に応じてそれぞれドキュメント ID 201～203 のドキュメントを表示します。画面初回表示時は 1 ページ目を表示します。ドキュメント上をタッチした状態で 8 方向にフリックするとドキュメントを 8 方向にスクロール表示します。ドキュメントの端が表示されている状態でフリックすると、ページを切り換えます。ピンチイン・ピンチアウトすると、大・中・小の 3 段階で、ドキュメントが切り換わります。
2. 表示しているドキュメントを操作します。  
 : 表示しているドキュメントを拡大/縮小します。  
 : 表示しているドキュメントを左右にスクロールします。  
 : 表示しているドキュメントを上下にスクロールします。
3. 表示しているドキュメントのページを操作します。  
 : 表示しているドキュメントのページ数を表示します。数値をタッチするとページ番号を変更できます。  
 : 表示しているドキュメントをページ送り/ページ戻しします。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。



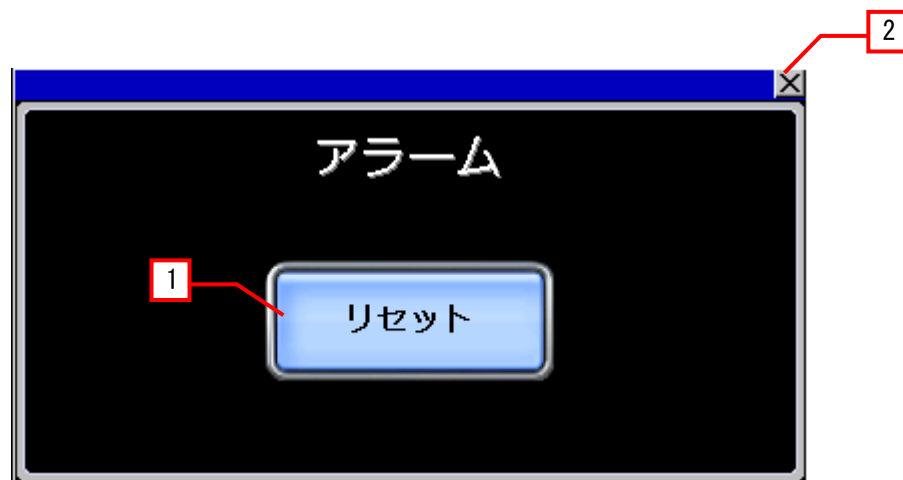
## 備考

- ・ マニュアル表示のドキュメントは表示言語切り換えに追従します。コメントグループ列 No. と言語、ドキュメント ID は下表のように対応しています。

コメントグループ列 No.	言語	ドキュメント ID
1	日本語	201
2	英語	202
3	中国語(簡体)	203

- ・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてドキュメントページ No. に「1」、およびドキュメント ID に「201」を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ ページ送りスイッチはオブジェクトスクリプトにて総ページ数を超えないようにしています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ マニュアル表示用のドキュメントデータは、お客様で作成してください。詳細については、「6. マニュアル表示について」を参照してください。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 5.3.7 アラームリセット (W-30001)



#### 概要

システムアラームをリセットします。

#### 詳細

1. システムアラームをリセットし、1秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

#### 備考

### 5.3.8 言語設定 (W-30002)



#### 概要

GOT で表示する言語を選択します。

#### 詳細

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

#### 備考

- ・ 表示言語にあわせてシステム言語とマニュアル表示のドキュメント ID も切り換える設定をしています。

### 5.3.9 時計設定 (W-30003)



#### 概要

GOT の時計データを変更します。

#### 詳細

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を▼▲スイッチで設定します。▼▲スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

#### 備考

- ・ 変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
- ・ 変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

## 5.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

### 5.4.1 接続機器のデバイス

#### (1) CH1 シーケンサデバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	M0～M19	ユーザアラーム監視
	M100+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯赤点灯
	M101+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯赤点灯パターン 1
	M102+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯赤点灯パターン 2
	M103+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯黄点灯
	M104+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯黄点灯パターン 1
	M105+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯黄点灯パターン 2
	M106+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯緑点灯
	M107+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯緑点灯パターン 1
	M108+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯緑点灯パターン 2
	M109+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯青点灯
	M110+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯青点灯パターン 1
	M111+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯青点灯パターン 2
	M112+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯白点灯
	M113+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯白点灯パターン 1
	M114+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯白点灯パターン 2
	M115+20 <sub>n</sub> (n = 0～4) *1	ネットワーク表示灯全色消灯
ワード	D100	エリア A のネットワーク表示灯点灯制御 (QCPU→GOT)
	D101	エリア B のネットワーク表示灯点灯制御 (QCPU→GOT)
	D102	エリア C のネットワーク表示灯点灯制御 (QCPU→GOT)
	D103	エリア D のネットワーク表示灯点灯制御 (QCPU→GOT)
	D104	エリア E のネットワーク表示灯点灯制御 (QCPU→GOT)

\*1: エリア毎にデバイスが異なります。エリア A の場合、n=0……エリア E の場合、n=4 となります。

#### (2) CH2 マイコン仮想デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	D100 (CH2)	エリア A のネットワーク表示灯点灯制御 (GOT→NH)
	D101 (CH2)	エリア B のネットワーク表示灯点灯制御 (GOT→NH)
	D102 (CH2)	エリア C のネットワーク表示灯点灯制御 (GOT→NH)
	D103 (CH2)	エリア D のネットワーク表示灯点灯制御 (GOT→NH)
	D104 (CH2)	エリア E のネットワーク表示灯点灯制御 (GOT→NH)

### 5.4.2 GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB40	スクリプトトリガ (常時 ON)
	GB61000	ネットワーク表示灯動作テスト画面フラグ
	GD60031. b13	GOT エラーリセット信号
	GS512. b0	時刻変更信号
ワード	GD60000	ベース画面切り換え
	GD60001	オーバーラップウィンドウ 1 画面切り換え
	GD60004	オーバーラップウィンドウ 2 画面切り換え
	GD60021	言語切り換え
	GD60022	システム言語切り換え
	GD60031、GD60041	システム情報
	GD60080～GD60082	ドキュメント表示

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	GD61000	エリア切り換え
	GD63990～GD63995	時計のデジスイッチ
	GS513～GS516	変更時刻
	GS650～GS652	現在時刻
	TMP800～TMP996	スクリプト演算用

## 5.5 コメント一覧

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
498	No. 1～20	ユーザアラーム監視 ID 30001
499	No. 1～80	アラーム履歴
500	No. 1～12	B-30001～30500
	No. 21～26	B-30002
	No. 31～48	B-30004
	No. 51～60	B-30003、B-30005
	No. 100	W-30001
	No. 101	W-30001、W-30003
	No. 102	W-30002
	No. 103～110	W-30003

## 5.6 スクリプト一覧

項目	設定
プロジェクトスクリプト	有り
画面スクリプト	B-30004、B-30500
オブジェクトスクリプト	B-30500、W-30003

### 5.6.1 プロジェクトスクリプト

スクリプト No.	30001	スクリプト名	Script30001
コメント	初期設定		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
[w:GD60080]=201; //ドキュメント ID に 201 を設定 [w:GD60081]=1; //ドキュメントページNo.に 1 を設定			
スクリプト No.	30101	スクリプト名	Script30101
コメント	ネットワーク表示灯動作テスト画面フラグ		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
if([w:GD60000]==30004)//ベース画面 30004 の場合 { [b:GB61000]=ON;//GB61000 を ON } else//ベース画面 30004 ではない場合 { [b:GB61000]=OFF;//GB61000 を OFF }			
スクリプト No.	30102	スクリプト名	Script30102
コメント	ネットワーク表示灯の点灯制御		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	OFF 中 GB61000
//エリア A ネットワーク表示灯の点灯制御 if([w:D100] != [w:TMP800]){			

```

[w:TMP800]=[w:D100];
[@2:w:D100]=[w:D100];    //ネットワーク表示灯へ通知する点灯情報を、GOTマイコンデバイスへ転送
}

//エリア B ネットワーク表示灯の点灯制御
if([w:D101] != [w:TMP801]){
[w:TMP801]=[w:D101];
[@2:w:D101]=[w:D101];    //ネットワーク表示灯へ通知する点灯情報を、GOTマイコンデバイスへ転送
}

//エリア C ネットワーク表示灯の点灯制御
if([w:D102] != [w:TMP802]){
[w:TMP802]=[w:D102];
[@2:w:D102]=[w:D102];    //ネットワーク表示灯へ通知する点灯情報を、GOTマイコンデバイスへ転送
}

//エリア D ネットワーク表示灯の点灯制御
if([w:D103] != [w:TMP803]){
[w:TMP803]=[w:D103];
[@2:w:D103]=[w:D103];    //ネットワーク表示灯へ通知する点灯情報を、GOTマイコンデバイスへ転送
}

//エリア E ネットワーク表示灯の点灯制御
if([w:D104] != [w:TMP804]){
[w:TMP804]=[w:D104];
[@2:w:D104]=[w:D104];    //ネットワーク表示灯へ通知する点灯情報を、GOTマイコンデバイスへ転送
}

```

## 5.6.2 画面スクリプト

### ベース画面 30004

スクリプト No.	30103	スクリプト名	Script30103
コメント	ネットワーク表示灯へ通知する点灯情報の再読み込み		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時
//ネットワーク表示灯の点灯制御判別フラグをクリア [w:TMP800] = 0; [w:TMP801] = 0; [w:TMP802] = 0; [w:TMP803] = 0; [w:TMP804] = 0;			

### ベース画面 30500

スクリプト No.	30002	スクリプト名	Script30002
コメント	ドキュメント表示の最終ページの処理		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//総ページ数が 0 でないことを確認 if([w:GD60082] != 0) { //現在ページ数が総ページ数を超えているか比較する if([w:GD60081] > [w:GD60082]) { //表示するページを最終ページに設定する [w:GD60081]=[w:GD60082]; } }			

### 5.6.3 オブジェクトスクリプト

#### ベース画面 30500

オブジェクト	スイッチ	オブジェクト ID *1	20021
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	デバイス書き込み時
<pre>//ページ数がドキュメントの総ページ数を超えないようにします。 if([u16:GD60081] &gt;= [u16:GD60082]){     [u16:GD60081] = [u16:GD60082] - 1; }</pre>			

#### ウィンドウ画面 30003

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10014
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<pre>//時計データより本日 of 年月を取得 [w:TMP950] = [w:GS650] &amp; 0xF000; //設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP960] = [w:TMP950] &gt;&gt; 12; //桁合せ [w:TMP968] = [w:TMP960] * 10; //BCD-&gt;BIN [w:TMP951] = [w:GS650] &amp; 0x0F00; //設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP961] = [w:TMP951] &gt;&gt; 8; //BCD-&gt;BIN [w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] + [w:TMP961]; //TMP973 に年を BIN でセット [w:GD63990] = [w:TMP973]; //年をセット  [w:TMP952] = [w:GS650] &amp; 0x00F0; //設定用時計データより月の 10 の位を取得 [w:TMP962] = [w:TMP952] &gt;&gt; 4; //桁合せ [w:TMP969] = [w:TMP962] * 10; //BCD-&gt;BIN [w:TMP953] = [w:GS650] &amp; 0x000F; //設定用時計データより月の 1 の位を取得 [w:TMP974] = [w:TMP969] + [w:TMP953]; //TMP974 に月を BIN でセット [w:GD63991] = [w:TMP974]; //月をセット  [w:TMP954] = [w:GS651] &amp; 0xF000; //設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP963] = [w:TMP954] &gt;&gt; 12; //桁合せ [w:TMP970] = [w:TMP963] * 10; //BCD-&gt;BIN [w:TMP955] = [w:GS651] &amp; 0x0F00; //設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP964] = [w:TMP955] &gt;&gt; 8; //BCD-&gt;BIN [w:TMP975] = [w:TMP970] + [w:TMP964]; //TMP975 に日を BIN でセット [w:GD63992] = [w:TMP975]; //日をセット  [w:TMP956] = [w:GS651] &amp; 0x00F0; //設定用時計データより時の 10 の位を取得 [w:TMP965] = [w:TMP956] &gt;&gt; 4; //桁合せ [w:TMP971] = [w:TMP965] * 10; //BCD-&gt;BIN [w:TMP957] = [w:GS651] &amp; 0x000F; //設定用時計データより時の 1 の位を取得 [w:TMP976] = [w:TMP971] + [w:TMP957]; //TMP976 に時を BIN でセット [w:GD63993] = [w:TMP976]; //時をセット  [w:TMP958] = [w:GS652] &amp; 0xF000; //設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP966] = [w:TMP958] &gt;&gt; 12; //桁合せ [w:TMP972] = [w:TMP966] * 10; //BCD-&gt;BIN [w:TMP959] = [w:GS652] &amp; 0x0F00; //設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP967] = [w:TMP959] &gt;&gt; 8; //BCD-&gt;BIN [w:TMP977] = [w:TMP972] + [w:TMP967]; //TMP977 に分を BIN でセット [w:GD63994] = [w:TMP977]; //分をセット  [w:TMP993] = [w:GS652] &amp; 0x00F0; //設定用時計データより秒の 10 の位を取得 [w:TMP995] = [w:TMP993] &gt;&gt; 4; //桁合せ</pre>			



[w:TMP996] = [w:TMP995] * 10;//BCD->BIN [w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F;//設定用時計データより秒の1の位を取得 [w:TMP978] = [w:TMP996] + [w:TMP994];//TMP978に秒をBINでセット [w:GD63995] = [w:TMP978];//秒をセット			
オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10015
スクリプトユーザ ID	2		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// BIN -> BCD 変換  [w:TMP979] = [w:GD63990] - 2000; // 年の下2桁  [w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10); // 年 BIN -> BCD [w:TMP981] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10); // 月 BIN -> BCD [w:TMP982] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10); // 日 BIN -> BCD [w:TMP983] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10); // 時 BIN -> BCD [w:TMP984] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10); // 分 BIN -> BCD [w:TMP985] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10); // 秒 BIN -> BCD			
オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10016
スクリプトユーザ ID	3		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 年月設定  [w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981]; // 変更時刻デバイスに年月セット			
オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10017
スクリプトユーザ ID	4		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 日時設定  [w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983]; // 変更時刻デバイスに日時セット			
オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10018
スクリプトユーザ ID	5		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 分秒設定  [w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985]; // 変更時刻デバイスに分秒セット			
オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10019
スクリプトユーザ ID	6		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 曜日設定  [w:TMP986] = [w:GD63990]; // 年 (BIN) [w:TMP987] = [w:GD63991]; // 月 (BIN) [w:TMP988] = [w:GD63992]; // 日 (BIN)  if((([w:TMP987] == 1)    ([w:TMP987] == 2))){ // 1・2 月の場合のみ前年の 13・14 月として計算するための補正処理 [w:TMP986] = [w:TMP986] - 1; // 年から 1 を減算 [w:TMP987] = [w:TMP987] + 12; // 月に 12 を加算 }  [w:TMP989] = [w:TMP986]/4;//ツェラーの公式に必要な項を作成 [w:TMP990] = [w:TMP986]/100;//ツェラーの公式に必要な項を作成 [w:TMP991] = [w:TMP986]/400;//ツェラーの公式に必要な項を作成			

$[w:TMP992] = (13*[w:TMP987]+8)/5;$  //ツェラーの公式に必要な項を作成

//ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット

$[w:GS516] = ([w:TMP986]+[w:TMP989]-[w:TMP990]+[w:TMP991]+[w:TMP992]+[w:TMP988])\%7;$

\*1 オブジェクト ID は画面流用時に変更される場合があります。

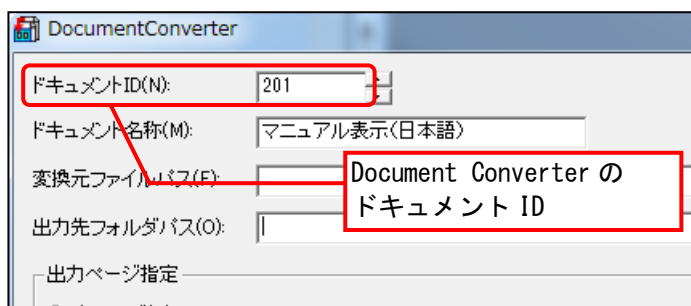
## 6. マニュアル表示について

マニュアル表示は、ドキュメント表示機能を使用して表示しています。ドキュメント表示機能の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。ドキュメント表示機能は言語切り換えに非対応のため、サンプル画面では選択した表示言語にあわせてドキュメント ID を変更することで、ドキュメントの言語切り換えを実現しています。

### 6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備

例：ベース画面 B-30500：マニュアル表示に日本語のマニュアル(ドキュメント)を表示する場合

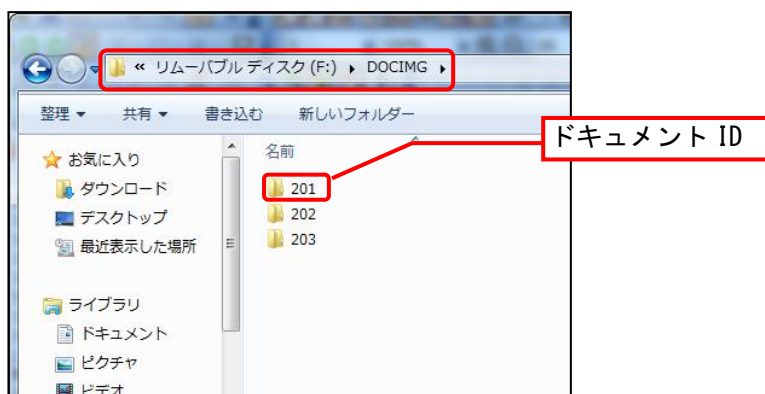
- (1) 表示するマニュアル(Word や Excel など)を Document Converter を使用してドキュメント表示機能用のドキュメントデータ(JPEG ファイル)に変換します。Document Converter の[ドキュメント ID]に 201 を設定します。  
※ドキュメント ID と表示言語の対応は下記表を参照してください。



コメントグループ列 No.	言語	ドキュメント ID
1	日本語	201
2	英語	202
3	中国語(簡体)	203

※Document Converter は 2.09K 以降のバージョンを使用してください。2.08J 以前のバージョンでは総ページ数とページ切り換えスイッチが正しく動作しません。

- (2) ドキュメントデータは DOCIMG フォルダの 201 フォルダ内に生成されます。DOCIMG フォルダ以下のフォルダ構成は変更せずに、DOCIMG フォルダごと SD カードのルートディレクトリに保存してください。



SD カードのフォルダ構成

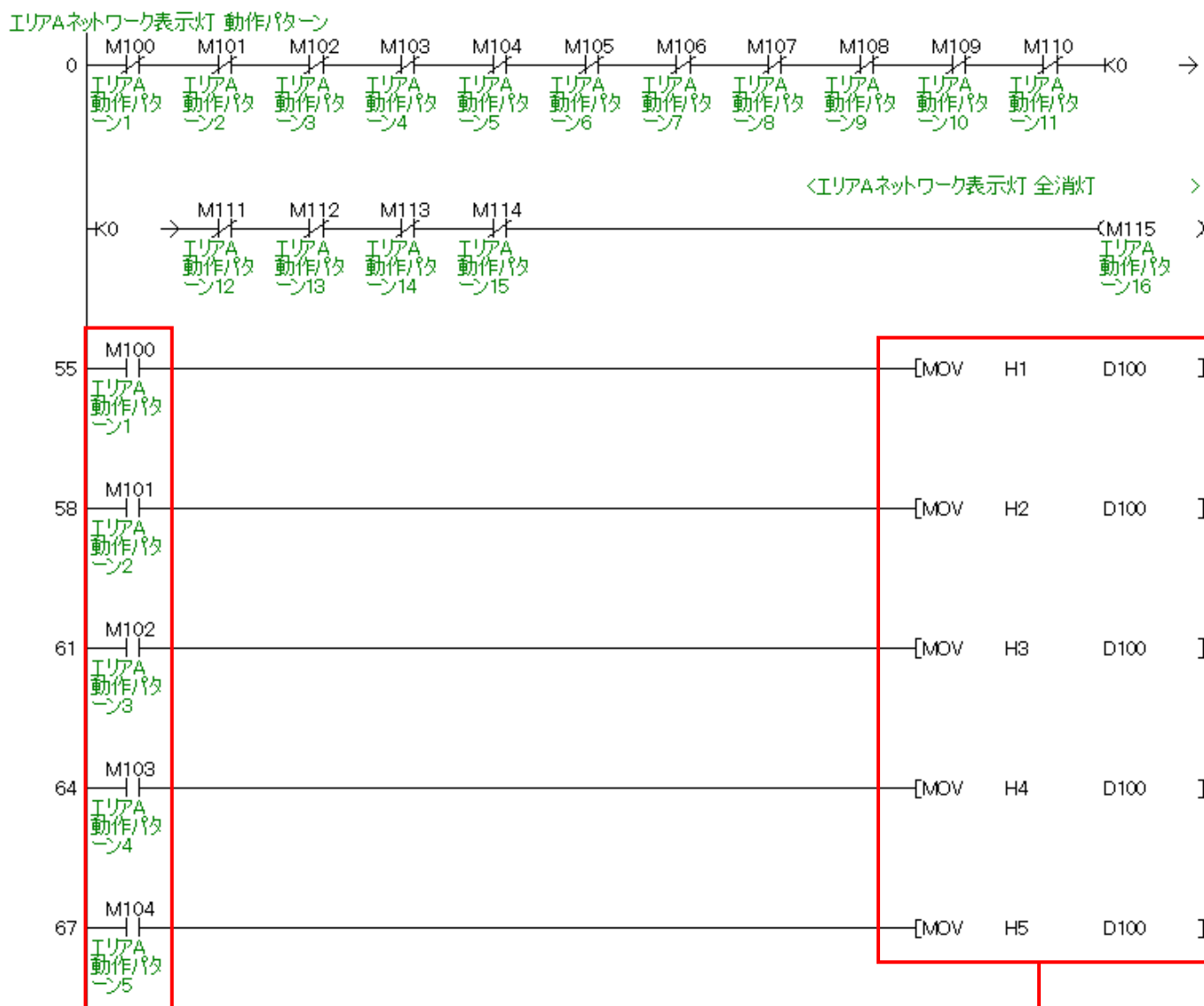
備考：総ページ数が 100 ページ以上の場合

本サンプルは総ページ数が 99 ページまでのドキュメントを想定しています。100 ページ以上の場合、総ページ数および現在表示中ページ番号の表示を行う数値表示の書式文字列(#の数)を修正してください。

## 7. その他

### 7.1 ラダープログラム

各エリアのネットワーク表示灯の動作パターン毎にビットデバイスを用意しています。装置でアラームが発生した時には点灯させたいネットワーク表示灯の該当動作パターン用のビットデバイスを ON してください。サンプルラダープログラムでネットワーク表示灯の動作パターンを通知するためのデバイスにネットワーク表示灯側で設定した各動作パターン用の値を格納します。



M100～M115はエリアAのネットワーク表示灯の動作パターン用のビットデバイスです。

M100：エリアAのネットワーク表示灯の動作パターン1

・  
・  
・

M115：エリアAのネットワーク表示灯の動作パターン16

D100はエリアAのネットワーク表示灯へ通知する点灯情報としています。

GOTにてD100に格納された値をGOT仮想マイコンデバイスへ転送しているため、ネットワーク表示灯に設定したconfig.iniファイルの値と同じにしています。

D100=H1：赤点灯

D100=H2：赤点減1

・  
・  
・

D100=H10：全消灯